

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		DEKITA?吉川		公表日		2025年 3月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・適切であると感じている。 ・利用平均人数より多くなった場合でも、臨機応変に活動内容を変更し、対応することができている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	2	・安全を配慮し、児童の状況を見て配置を変える等の対応をしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・日々、児童の状況にあわせて環境設定を見直し、対応している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎朝清掃を行い、清潔な環境づくりに努めている。 ・床にマットを置く、柱の角をクッション材などで丸くするなど安全に活動ができる環境を作っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・事業所内に部屋が3つあり、個別の部屋や場所の確保はできている。 ・いつでも使えるようにしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・職員全体で共有・振り返りを徹底して行い、目標設定を考えている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者様と日々コミュニケーションを取ることを意識している。 ・授業公開等のイベントで意見を頂き、改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・毎朝のミーティングや毎月の会議で積極的に意見交換を行い、改善に努めている。 ・その都度、支援や業務に関する相談ができる環境にある。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	・定期的に研修を行っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・週間テーマの配信やDEKITA?☆Diaryも活用して実施している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・児童1人1人に寄り添った支援ができるよう、保護者様からの意見も取り入れて個別支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・職員全員でミーティングを行い、共通理解の下での支援に努めている。		
	14	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・個別支援計画については、ミーティングや回覧等を使用し、認識を統一している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・保護者様との情報交換の中で、学校や自宅の様子等の情報収集している。 ・その都度情報共有を行い、あらゆる可能性を加味して支援に臨んでいる。		
	16	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画には、児童発達支援計画及び放課後等デイサービスガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・各支援内容を把握した上で、その都度本人及び保護者様の気持ちに寄り添いながら支援をしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・職員間で意見を出し合い、プログラムを立案している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・児童の様子を長期的に見つつ、その都度の変化に合わせて支援を工夫している。 ・同じプログラムにならないように組み合わせをしているが、同じプログラムを固定して行った方が良い場合もあり、状況に応じて使い分けている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・児童に合わせて支援を実施している。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・必ず児童が来る前に、本日の活動内容や目的・職員や児童の配置について共有している。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・当日に行えない場合であっても、翌日の朝に必ず振り返りを行っている。		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・当日中に記録をし、職員間で共有している。		

適切な支援の提供	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・日々の児童への支援の中で、個別支援の目標を達成できた場合には達成時期を待たずに、個別支援の更新を行っている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	・自立に向けた支援や創作活動・余暇の提供を取り入れた授業案を作成することができている。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・選択肢を児童に提供していく中で、自身で最終決定できるように支援している。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・学校の先生や保育園、幼稚園の先生と情報共有を行った上で、支援することができている。
	28	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・学校の先生や保育園、幼稚園の先生と情報共有を行っている。
	29	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	
	30	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	・ホームページ等を利用し、学校の情報を確認することができている。 ・年間行事は保護者様より頂いたりして把握している。
	31	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	
	32	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	・放課後等デイサービスを卒業するまでに障害福祉サービス事業所との関わりを進めているので、情報共有はできる。
	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5	
	34	保育所や認定こども園、幼稚園、放課後児童クラブや児童館等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	
	35	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	
	36	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・毎日、保護者様にはその日の出来事を共有している。
	37	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	・都度、情報共有をしている。
保護者への説明等	38	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・口頭だけでなく、HUGを活用して、日々の日誌や授業内容などを公開している。
	39	児童発達支援計画及び放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・本人の様子や保護者様のご意向を踏まえ、支援を行っている。
	40	「児童発達支援計画」「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・面談時に同意をいただいている。
	41	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・随時実施しており、相談内容に応じて傾聴をし、状況に合わせて助言を行っている。
	42	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・兄弟間での交流する機会は、イベントを通して実施している為、今後も継続していく。 ・授業公開を定期的に行い、保護者様同士が関わるができる環境を作ることができている。
	43	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2	・苦情までに至ったケースはないが、ご意見をいただいた際は、迅速に対応し、その後の対応も共有している。
	44	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	2	・DEKITA?☆Diaryにて授業内容は提示している。
	45	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・鍵付き書庫にて保管している。 ・個人情報の破棄書類は、必ずシュレッダーしている。
	46	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・保護者様1人1人に合わせ、配慮を行っている。
	47	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・四季イベントに合わせ、地域交流を図っている。

非常時等の対応	48	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	2	・保護者様ご協力のもと、年2回の訓練を実施。消防署への実施報告書などの提出もしている。
	49	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・定期的に確認し、実施している。
	50	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・緊急連絡票への記入やおくすり手帳のコピーなどで把握を行い、変更後は随時更新をしている。
	51	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2	・医師の指示書の提示はないが、保護者様に確認をしている。
	52	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・安全管理に対して、職員間で共有し、支援している。
	53	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・保護者様との連携を取ることができるよう、コミュニケーションを取るよう徹底している。
	54	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・職員間で共有し、再発防止を徹底している。 ・ヒヤリハットに対して具体的にどうすべきかを話し合うことができている。
	55	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	・虐待に対する危機感を持ち、定期的に研修を設けている。
	56	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画及び放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・現状身体拘束を行う状況にはなっていない為、計画書に記載はしていない。